

円満夫婦から学ぶ、パートナーの家事への協力度が上がる方法とは…!?

3人に2人が理想とする掃除の「ゆるっとシェア」派は“夫婦仲”も良好だった！

「日頃の感謝」&「サッとできるおそうじ環境づくり」が円満のコツ

手近に道具を置いておくだけでパートナーの協力度がアップする!?お手軽アイデアも
～クイックルが気負わない家事のスタイルを推進する「みんなの家事プロジェクト」を発足～

花王株式会社のクイックルは、30-49歳の男女1,244名に対し、パートナー間の「掃除シェア」等に関する意識調査を実施しました。また、9月19日（日）の「クイックルの日」に合わせて、クイックルが商品や取り組みを通じて、家事をもっとラクに、家族みんなのものにしていくことを推進するプロジェクトを発足します。

調査結果より、家事参加への意欲は男女ともに70%以上にのぼり、30代では80%を超えています^{※1}。その一方、未だ家事に起因する家庭内の課題は多く存在していることが見えてきました。

【調査概要】

家事・掃除に関する意識調査

- ・調査エリア：全国
- ・調査対象者：男女30-49歳の既婚・有職者 1,244名（男性はパートアルバイトを除く、女性は含む）
- ・調査方式：インターネット調査
- ・調査期間：2021年7月28日～7月29日

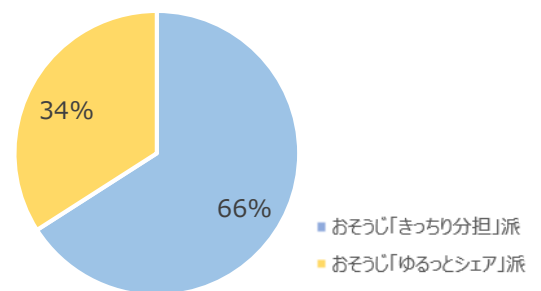
1

おそうじは3人に2人がパートナーとの「きっちり分担」で対応
円滑な役割分担にブレーキをかけていたのが“指示の主従関係”だった!?

■パートナーとの掃除協力状態は、65%以上が「きっちり分担」派で「ゆるっとシェア」派よりも優勢に

まずはご家庭の掃除シェア実態をリサーチ。現在のパートナーとの掃除の協力状態を伺うと、作業・場所・時間毎に掃除を分担している「きっちり分担」派は66%、細かな取り決めはせず、臨機応変に対応している「ゆるっとシェア」派は34%で、「きっちり分担」を実践している方の割合が大きい結果となりました。（図1-1）

【図1-1】夫婦の掃除の協力状態（n=828・SA）



■パートナーとの役割分担に潜む不満のタネは“指示の主従関係”！円滑な協力状態のブレーキに

「きっちり分担」派に関して、その「役割分担」に不満のタネが潜んでいることが判明。「きっちり分担」派に掃除分担の考え方に関する設問を投げかけたところ、分担への貢献意識が高い層はパートナーに対し、「口を出さずとも自分から行動してほしい」「相手にお断りしないと掃除に参加してくれない」などの悩みを抱えており、それに対して貢献意識が低い層は「口出しをされたくない」と考えていることが分かりました。（図1-2）分担を遂行することへの義務感から生まれる“指示の主従関係”が、円滑な協力状態に支障をきたしてしまう可能性があると言えます。

【図1-2】掃除の分担に対する考え方（パートナーとの分担貢献意識別）^{※2}（MTS）

< A：分担における貢献度が高いと自負している層（n=284） >

1位	自分ができないときは、何も言わなくても相手に担当分以上に対応してほしいと思う（64.9%）
2位	分担以上のこともしているが、割合の不公平さがつい気になってしまうことがある（55.7%）
3位	自分から相手に色々とお断りしないとやってくれないことが多い（55.5%）

< B：分担における貢献度が低いと自認している層（n=262） >

1位	自分の掃除のやり方に、口を出されるのが嫌だ（51.9%）
2位	相手のやってくれる分担に対して、感謝や思いやりが少なくなってしまう（31.8%）
3位	自分の掃除のやり方に、相手が満足してくれない（25.9%）

2

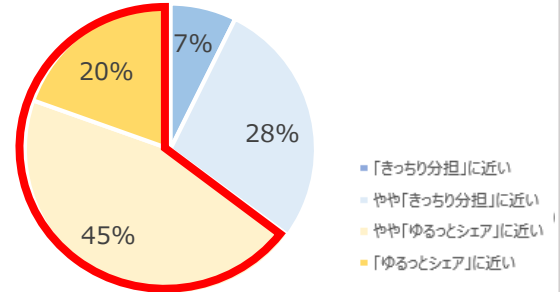
理想は「ゆるっとシェア」！でも現実には「きっちり分担」…

掃除における夫婦の協力状態は3人に2人が「ゆるっとシェア」を望んでいた

■パートナーとの理想の掃除協力状態は、「きっちり分担」派よりも「ゆるっとシェア」派が割合優勢に

理想の掃除の協力状態としては、3人に2人が「ゆるっとシェア」に近いと回答し、図1-1で示した現実とは相反し、「きっちり分担」派よりも「ゆるっとシェア」の実践を望む方の比率が多いことが明らかになりました。(図2)

【図2】夫婦の理想の掃除の協力状態 (n=828・SA)



3

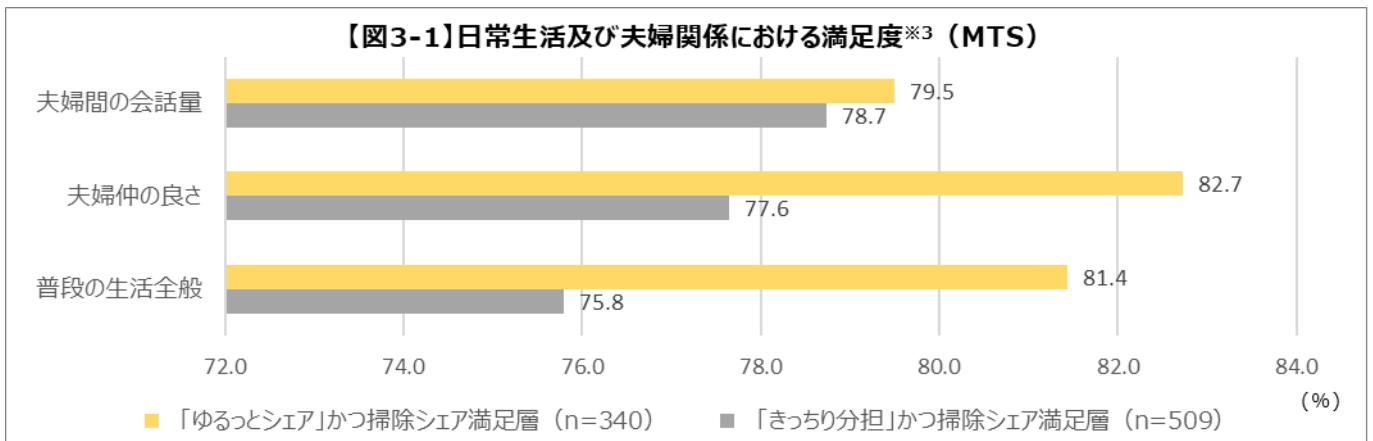
「ゆるっとシェア」の実践で円満！日常生活の満足度も高い結果に

そのワケはお互いの“自発的”かつ“同じ目線”でのおそうじ参加にあり!?

■実は、「ゆるっとシェア」派の方が夫婦仲の良さや日常生活全般における満足度が高かった

ここからは、“おそうじ円満”へのヒントを探るべく現状の「掃除シェア」状況に満足している方を深堀り。日常生活や夫婦関係に対する満足度に関する設問では、「きっちり分担」派及び「ゆるっとシェア」派それぞれの協力状態に満足している層において、「ゆるっとシェア」派が感じている夫婦仲や日常生活全般への満足度の方が、各項目で高いという結果となりました。(図3-1)

【図3-1】日常生活及び夫婦関係における満足度※3 (MTS)



■「ゆるっとシェア」派のメリットはお互いの“自発的”かつ“同じ目線”でのおそうじ参加を実感できること

そんな「ゆるっとシェア」派が感じているメリットとして、「相手が思いやりで自発的に（掃除を）やってくれることが嬉しい」との声に次いで、パートナーに対して「感謝できること」や「大変さを理解できること」が挙げられました。(図3-2)

細かな取り決めはしない「ゆるっとシェア」を通じて、互いが「自分ゴト」として掃除に参加し同じ体験を共有するなど、主従なく目線を合わせて向き合うことで、相手に感謝する気持ち生まれ、パートナー同士の理解が深まっていることが分かりました。それが日常生活や夫婦関係の満足度の高さに繋がっている可能性が垣間見えました。

【図3-2】掃除を夫婦で分担しないことによるメリットとデメリット※4 (n=340・MTS)

< A : メリット >

1位	相手が思いやりで自発的に行ってくれることが嬉しい (89.7%)
2位	不意にやってくれたことに感謝することが多い (86.2%)
3位	同じ家事を共有しているので、相手がしてくれたことの大変さや苦勞が理解できる (80.9%)

< B : デメリット >

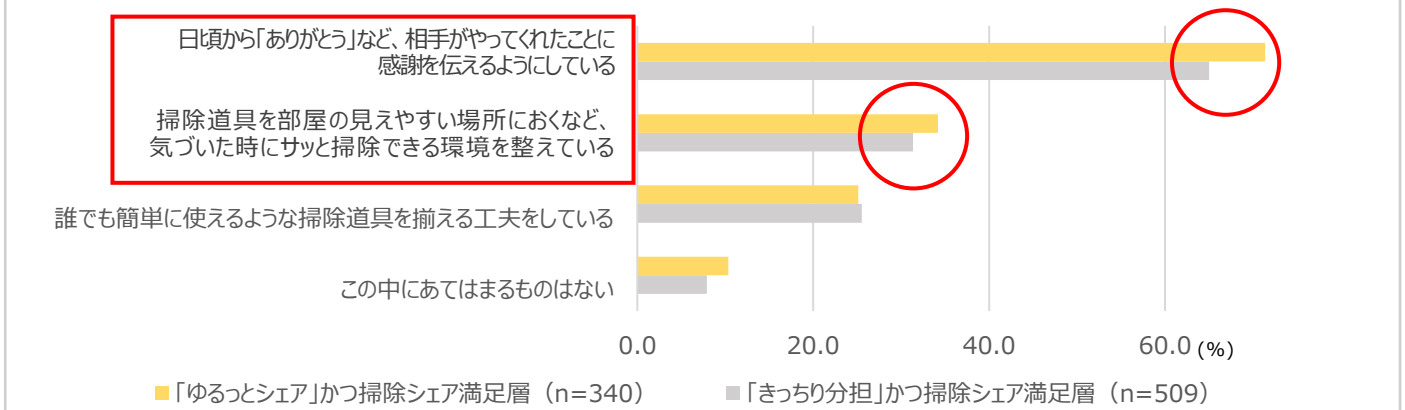
1位	相手の気になるポイントと自分が気になるポイントの違いが気になる (57.6%)
2位	自分がやった掃除を、相手が気づいてくれないことがある (48.2%)
3位	きちんとお互いにコミュニケーションを取っていないと、どちらかに偏ってしまう (40.7%)

円満への第一歩！パートナーの“自発的”なおそうじ参加を促すコツは「日頃から感謝を伝えること」と「サッと掃除できる環境を整えること」

■「ゆるっとシェア」派が良好な協力状態を保っている裏には「パートナーへの感謝」と「環境づくり」があった

「ゆるっとシェア」派と「きっちり分担」派それぞれの、パートナーとの協力状態をよくするために実践していることを比較してみたところ、「日頃から感謝を伝えること」と「気付いた時にサッと掃除できる環境を整えること」の2項目において、「ゆるっとシェア」派が特に意識して実践しているということが分かりました。（図4-1）“パートナーへの日頃からの感謝”と“掃除環境の整備”、ソフトとハードの両側面からそと背中を押していくことが、協力関係を円滑にする第一歩と言えます。

【図4-1】掃除シェア満足層が夫婦の協力状況をよくするために掃除で実践していること（MA）



■お手軽アイデア！家族の手の届きやすい場所に掃除用具を置いておくだけで協力度アップ!?

前問の他に実践していることの個別回答としては、以下のようなものが挙がりました（図4-2）。中でも掃除用具をあえてしまわずに、家族の手の届きやすいところに置いておだけのお手軽アイデアを実践されている方が、一定数見られました。

【図4-2】「ゆるっとシェア」派^{※5}が掃除において、夫婦の協力状況をよくするために実践していること（FA・一部抜粋）

- ・汚れているところに気付いたときや掃除しようと思ったときは後回しにせず、そのときにするようにしている。（30代・男性）
- ・掃除道具を奥にしまうと面倒臭くなるので、ハンディモップやコロコロなどはすぐに取りれる所に置いてある。（40代・女性）
- ・掃除用品は必ず夫婦一緒に購入するようにしている。（30代・男性）
- ・どちらも気が付いたときサクッと掃除をするので、掃除道具は手に取りやすいところに一通り揃えてある。そしてお互いに掃除道具や掃除そのものの話題を日常会話としてしている。また、どちらかが掃除をしたら、お互いに「ありがとう」を言う。（年代非公開・男性）
- ・掃除してくれたことに気づいたら感謝の気持ちをしっかり言葉にすること。
リビングのすみにクイックルワイパーなどの掃除用具を置き、気軽に掃除ができるようにしている。（年代非公開・女性）
- ・在庫がなくなりそうなものを共有したり、パッケージをだしておくようにしている。
新しい掃除道具を購入したときは、使い方を共有する。（年齢非公開・女性）

- ※1 何らかの形でパートナーと掃除をシェアしている層（以下掃除シェア層）を対象にした、「ご家庭での家事全般（掃除、育児、洗濯、炊事など）への参加意欲を教えてください。」という設問に対する回答結果より引用
- ※2 掃除シェア層のうち、掃除分担者を対象にした、「夫婦の掃除の分担に対する考え方として、以下はどのくらいあてはまりますか。」という設問に対し、各項目において「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した人の割合が多かった上位3項目
- ※3 「各項目についてどのくらい満足していますか。」という設問に対し、各項目において「満足している」「やや満足している」と回答した人の割合
- ※4 掃除シェア層のうち、非掃除分担かつ掃除シェア満足者を対象にした「掃除を夫婦で分担しないことで、どのような良いことがありますか。」という設問に対し、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した人の割合が多かった上位3項目
- ※5 掃除シェア層のうち、非掃除分担かつ掃除シェア満足者が対象